

SDGs 連合ゲーム

「誰も取り残すな！」～国技連職員のシゴト～

2029 年。社会課題を国際社会が協力して解決を目指してきたが、SDGs 達成には程遠いようだ…まだ何ヶ国も取り残されているかもしれないとの報告があった。あと残り 1 年で私たちの世界は変革できるのだろうか？長岡技大は、国際技学連合を新たに設立し、国技連職員（国際技学連合職員）の募集を開始した。ぜひ、国技連職員となって取り残された国を救って欲しい。（この物語はフィクションです。）

【国技連職員の任務】

議長からの情報（ヒント）を職員間で共有しながら、取り残されているかもしれない 6 ケ国（A 国・B 国・C 国・F 国・J 国・K 国）が、どのゴール（SDG1～SDG17）の支援を必要としているか議論し（1 日目～6 日目）、6 ケ国それぞれが支援を必要とする「ゴール」を決定する（7 日目）。

【国技連職員のスケジュール】（45～60 分）

- 1 日目：自己紹介 → 係（順番）決め → 表示名変更 → 議長からの情報提供（メール受信）
- 2 日目：第 1 回国技連会議（決められた順番に自分が提供された情報を仲間と共有した後、議論を行う）
- 3 日目：議長からの情報提供（メール受信）
- 4 日目：第 2 回国技連会議
- 5 日目：議長からの情報提供（メール受信）
- 6 日目：第 3 回国技連会議
- 7 日目：6 ケ国それぞれが支援を必要とするゴールの決定（決定後、答え合わせ）

【国技連会議の流れ】

- 1)議長が司会&進行&タイムキーパーを行う。Zoom・Jamboard が使用できるかの確認も開始前に行う
- 2)議長は各係の職員にメール（Zoom チャット）で一人一人異なる情報を提供する
- 3)各係の職員は「NG ワード・動作」に気を付けながら、Zoom で時間内に他の職員に情報を共有する
- 4)情報共有後、国技連職員のみで「Jamboard」（Google のホワイトボード）を用いながら議論する

【国技連会議場所】（オンライン）

会議は Zoom・Jamboard を用いて行う（以下は Jamboard 参考 URL、ゲーム当日は別の URL を配布）

https://jamboard.google.com/d/1ozPK08MC4BqTHREGdb_LDyPWGSHKMsun-goZC7vC0e8/edit?usp=sharing

【国技連会議開催の条件】

議長：1 名（長岡技術科学大学 SDGs 推進室又は学生 SDGs プロモーター）

国技連職員（一般参加者）：4 名（5 名でも可能だが、4 名を推奨）

【その他】

※メール：議長が Zoom チャットを用いて職員に情報（ヒント）を送る。本物の E メールは使わない。

※マイク・カメラ付きで Zoom 及び Jamboard が利用できるパソコンを 1 人 1 台用意する。スマホ・タブレットからの参加はできない。

※声や身振りで情報共有を行うため、各参加者は別々の部屋から参加することを推奨する。

【申込方法】web フォーム

<https://forms.gle/NbQCJ3MDM2nRuMTK8>